

# 子どものいじめをなくすために、私たち市民(大人)ができること

いじめをなくして

- \* 子どもが安心して暮らせるまち
- \* 子育てがしやすいまち

にしましょう。



子どもたちは、学校だけではなく家庭や地域でも育てられています。保護者はもちろん、子どもたちを取り巻く多くの大人の力で、いじめをしない思いやりの心をもつ子どもを育てていくことが大切です。

例えば

## 大人(市民)ができること 子どもたちと関わる。



普段からあいさつを交わす。登下校時や遊んでいる様子の見守り、場合によっては声をかけ、顔見知りになる。

### 行事等に 参加する

### ボランティア活動

#### 子どもとともに地域の活動

花いっぱい運動  
公民館まつり  
自治会行事 等

#### スポーツ・文化活動 レクリエーション

スポーツ少年団  
ユニック  
子ども教室  
サークル活動 等

#### 子育て

キッズクラブ  
見守り活動  
PTA  
家庭教育学級  
子ども会 等

### 子どもは

- \* いろいろな人と話す
- \* 褒められる、叱られる
- \* 自分の思いどおりにならないことを学ぶ
- \* 我慢する力を育む
- \* 社会のルールを学ぶ (物事の善し悪しを学ぶ)



学校や家庭では経験できないことを勉強します。

## 自分自身を好きになり、思いやりの心が育ち、いじめをしない子どもを育てることにつながります。

大人が関わり、社会性を身につけることで「自分は人から愛される大切な人間だ。世の中や他の人にとって必要な人間だ。」という気持ちが芽生えます。

ありのままの自分を受け止め、褒められることで安心感や信頼感を持ち、自分を大切に思う気持ちとともに相手を大切に思う気持ちを持つことができます。

そして、大人が見守ることにより子どもたち自身で支え合う仲間をつくり、居場所をつくることができます。